

『その名はイエス』 マタイの福音書1章18～25 2015.12.6(礼拝説教より)

『マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。』

マタイの福音書 1:21

◆イエス・キリストは、誕生から生涯の全てが「あり得ない！」の連続だった。聖霊により処女から生まれ、わずか数年間、神の愛を宣教した後、極悪人として十字架で処刑され、それっきり姿が見えなくなった方！しかしその誕生を境に人類の歴史を二分(BC/AD)し、毎年数え続けて2015年。しかもそのイエスが死後3日目に復活した生ける神だと信じる人が、現代、約21億人もいる！聖書は、その誕生の目的を告げる『民をその罪から救うため』だと。

◆あり得ないのは、現代社会の『罪』の現実！憎み、傷つけ、殺し合い、日本でも自殺者は年間何万人も。飢えて死んでいく子どもたちが、毎年何億人もいる地球…。罪の起源は『善悪の木の実を食べたこと(創世 3:6)』にあるという。善悪を決めるのは創造主なる神だけなのに、人は、悪魔にそそのかされて善悪を知る者となり、人類の歴史と全地は呪われた。人が神のようになり、自分の物差しで物事の良し悪しを判断し、自分がいいと思えばいい、自分が嫌なものは誰が何と言おうと嫌！これぞ『自己中心』の罪の本質！教育も知識もお金も思想も、本来は人も社会も豊かに幸せにするものだが、神の愛から離れたゆえに、傲慢になり、関係や自然も破壊する者となった。

◆そのあり得ない罪の現実にイエスの十字架の叫びが聞こえる『父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです(ルカ 23:34)』。そして続けた…『わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか(マタイ 27:46)』と。この叫びは、罪に呪われ、裁かれて、永遠の苦しみの中に投げ込まれる私たちの叫びだった…しかしイエスは、私に代わってその罰を負い、代わりに呪いを受けて地獄へ…そしてその罪と死を滅ぼした証に復活し、今も生きておられ、私たちを救いへと招かれる！『インマヌエル(神我らと共にいます)』とは、復活を意味する名前。この身代わりのイエス様を信じる者に『あなたの罪は赦されましたよ』と告げられる。あなたはこの良き知らせを聞いただろうか？